

法務省主催による「国際更生保護ボランティアの日」

1周年記念英語によるオンラインウェビナー

2025年4月17日 15:00~16:40



※「国際更生保護ボランティアの日」とは、令和6年4月17日、オランダ・ハーグにおいて開催された第2回世界保護司会議において、その開催日である4月17日を「国際更生保護ボランティアの日」とする宣言が採択され、保護司を始めとする地域ボランティアの取組に対する国際的な認知度の向上に関係各国が協力して取り組むこととなりました。

この日の1周年を記念したオンラインセミナーが、日本のほかタイ、シンガポール、インドネシア及びマレーシアを結んで標題のオンラインセミナーが下記のとおり開催されました。日本からは、京都市左京区保護司会・上野会長が参加。更生保護サポートセンターでの取組についてお話されました。上野会長は、保護司アジア研協力会の会員でもあります。お時間があれば、是非ご視聴していただければ幸いです。

司会進行は東京の法務省から、日本を代表してアジア研保護司協力会会員・左京区保護司会 上野修会長は京都から「更生保護サポートセンターでの取組について」約10分間英語で発表しました。前日から法務省の外事部担当者が来京。当日は発表席隣でサポートをしてくださいました。



発表内容は左記YouTubeで見ていただくことができます。

今回のテーマが更生保護サポートセンターでの取組についてでしたので、サポートセンターができる前、できた後の活動について発表させていただきました。



また、左京区には12人のお寺の住職の保護司がおられますのでお寺の写真に掲載。京都に来られる時、連絡をいただければ情報をお伝えしますと伝えました。



京都は「国際更生保護ボランティアの日」に関してこれといった活動はありませんでしたが
東京ではパレードに先立って開かれた式典で小池都知事が
「犯罪や非行の防止、更生を図るために尽力している方々に深く感謝したい」「誰一人取り残さない社会を実現するために、ともに歩んで参りましょう」と呼びかけ、都庁前で500人のパレード、スカイツリーが黄色の点灯されるなど多彩なイベントがあったようです。
今回の発表は保護司アジ研協力会 石崎俊一会長のご推薦で実現しました。京都から日本を代表してインターナショナルオンラインセミナーで発表するという名誉な機会を得ました。関係者各位に深く感謝申し上げます。

写真提供：柴田和子先生
加納正博先生